

寄付について

当財団は内閣府より「公益財団法人」として認定を受けており、当財団への寄付金は、特定公益増進法人への寄付金として、所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。

生徒たちと共にさまざまな分野の研究をしている先生方や、歴史的映像アーカイブのデジタル化を促進する活動などを、財団と一緒にご支援ください。オンラインサービスから簡単にご寄付いただけます。詳細は下記よりご覧ください。

<https://www.shimonaka.or.jp/donation/>



収益を目的とする事業

宮内庁式部職楽部の協力を得て、故 小泉文夫教授(当時、東京芸術大学)の学術指導の下、1972年より16mmフィルムによる雅楽の映像記録に取り組んできました。これは後にECアーカイブズにも収録されました。現在では新しい演目も追加され、DVDのセットとして販売しています。

主に収録されている演目:

国風歌舞:「東遊」「久米舞」 催馬楽:「伊勢海」「更衣」

朗詠:「嘉辰」「紅葉」

唐楽:「太平楽一具」 高麗楽:「延喜楽」

管絃:「越殿楽」「抜頭」 舞楽:「抜頭」

雅楽器と雅楽譜、装束、唐楽:「陵王」、高麗楽:「納曾利」

管絃:「陪臚」、舞楽:「万歳楽」「林歌」「還城楽」など

<http://gagaku-dvd.net/>

下中記念財団について

当財団は下中弥三郎(表紙)の業績を記念し、没後翌年の1962年6月に財団法人として設立されました。広く科学技術の研究を行う教員や研究者と教育現場を奨励し、学術および文化の発展に寄与することを目的としています。初代の理事長は赤井米吉。理事は、当時東京大学総長だった茅誠司、哲学者の谷川徹三、フランス文学者の中島健蔵、物理学者の湯川秀樹のほか、教育、出版、政財界など各界から広く集まりました。

2012年の4月1日には、内閣府の認定を受け、公益財団法人へ移行しました。

東京都新宿区余丁町7-1 発明学会ビル502号

電話:03-5315-0154

<https://www.shimonaka.or.jp>

e-mail: info@shimonaka.or.jp



公益財団法人

下中記念財団

THE SHIMONAKA MEMORIAL FOUNDATION



下中弥三郎 1878 - 1961 教育者で、平凡社を創業したほか、多くの運動を指導。晩年は平和運動に尽力して勲一等瑞宝章を叙せられた。



理事長

下中美都

下中記念財団は平凡社の創業者下中弥三郎の志「教育と平和」を礎としています。事業の柱は小学校・中学校・高等学校の教師や科学教育に携わる方のユニークな研究を助成する「下中科学研究助成金」です。子どもたちの自由な発想を育むことを目的としています。もうひとつは映像の百科事典「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ(略称EC)」の活用です。ECは生物学・民俗学・科学技術の国際的な歴史的映像記録を3,000点以上収録、人間の生活技術の記録遺産といえるものです。そのほか日本とインドの文化交流のための『上野眞資記念「日本を知ろう」』事業や、中国・韓国・日本のひとがお互いの国の年中行事を学び、ルーツを分かち合う「アジア暮らしの暦」プロジェクトを運営しています。平和とは、地球に住む世界のひとびとが、各々の暮らしの文化と心のよりどころを知り、リスペクトし合うことではないでしょうか。心を開けば世界にはまだまだ知らない、面白いことがたくさんある！下中記念財団はその一助になればと願っております。

財団の公益事業

【下中科学研究助成金】設立当初より実施の、学校の先生方他の真摯な学問・研究を助成し、その発展を願って科学及び科学技術の振興を図ります。申請者の論文を委員会で審査して、毎年20～30名に助成金をお贈りしています。

【エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ(EC)】1952年ドイツの科学映画研究所により始まった世界中の知の記録の集積をめざした映像による百科事典です。日本では当財団が運用を担っていて、収蔵映像の貸出や閲覧、上映会を定期的に開催しています。http://ecfilm.net/

【国際相互理解の促進を目的とする助成事業】

上野眞資^{まさやす}記念事業「日本を知ろう」：下中弥三郎はとりわけインドに多くの有力な友人がいました。そこで、研修等で来日するインド人生徒、学生、教師の活動を支援しています。

【博物館事業】パール下中記念館の運営管理ほか、丹波篠山市と協同して「世界平和アピール7人委員会」の講演会を行っています。

財団発行冊子のご紹介



アジア暮らしの暦 日本・韓国・中国の巻

日本、韓国、中国の春夏秋冬、年中行事と歳時風俗の経文折りのミニ百科です。財団へのご寄付を3,000円以上いただいた皆さまに贈呈しております。また、ご希望の方には1,000円でお譲りしております(送料別)。



「映像のフィールドワーク」ノート① こなねる たべる

穀物を収穫し、脱穀し、粉にし、食べるまでの暮らしの技術とその光景の映像を「みる やってみる 問い続ける」を軸にまとめた、EC上映会の手引きの1冊です。500円/冊(送料別)